



# News Release

更なる成長に向けた基盤作りとして国内顧客への協力体制を強化

## バリーカレボー、国内工場を移転、 高崎工場が操業を開始

- 高崎工場の当初の年間生産能力は2万2,000トン进行予想
- アジア太平洋地域および日本のチョコレート事業拡大に向けた取り組み

【2013年11月14日 高崎、チューリッヒ】本日、高品質のチョコレートおよびココア製品を供給する世界最大のチョコレート製造会社バリーカレボーが、2012年6月に発表した同社製造工場の兵庫県尼崎市から群馬県高崎市への移転が予定通り完了したことを発表しました。本日正式に操業を開始する新工場の当初の年間生産能力は、2万2,000トン（チョコレートおよびコンパウンドを含む）と予想されています。同工場の建設には、総額1,850万スイスフラン（約20億8,100万円）が投じられました。

群馬県高崎市に位置する新工場は、約1万7,000平方メートルの敷地内に高度に自動化された設備をもって操業を開始します。新工場は、既存および潜在的な製菓業界での顧客からの距離が近い上、非常に魅力的で世界の注目を集める日本のチョコレート市場で活躍する大手食品メーカーやグルメ市場の顧客へも容易にアクセス出来ることから、両者への協力体制を強めるものとなります。

日本のチョコレート菓子市場は、アジアでトップクラスの規模を誇ります。2012年の国内の一人当たりのチョコレート消費量は1.84キロで、アジアでトップを記録しました。<sup>1</sup>

新工場のオープニング式典に出席したバリーカレボーCEOのユルゲン・シュタインマンは、「日本の大手食品メーカーとの連携および当社の新工場が国内顧客の製造拠点と隣接していることは、当社の国内事業を支える重要な柱となるでしょう。国内企業が有する日本市場に関する知識やノウハウと、世界各地に構える当社の研究開発拠点や製造に関する専門知識が融合することになります。国内工場の高崎への移転には、顧客との距離を縮め、新商品の共同開発や成功に向けた両社の連携を強化するという、戦略的な意味があるのです」と述べています。

バリーカレボー・ジャパンの代表取締役社長である中野文孝は、「今回の新工場設立により、国内の生産能力の強化に向けた継続的な投資や国内チョコレート市場への新製品投入に当社が全力で取り組んでいることを、日本国内の顧客に示すことができました。世界トップクラスの最新技術を誇るチョコレート工場を新設できたことを、心より誇りに思います」と述べています。

今回の新工場の開設により、アジア太平洋地域における高品質チョコレート・ココア製品のメーカーのリーダーとしてのバリーカレボーの位置付けがさらに強化されることとなります。2か月前にはインドネシアに現地食品製造業者P.T. Comextra Majoraとの提携によりカカオ加工工場を新設しました。

<sup>1</sup> 出典：日本チョコレート・ココア協会



# News Release

---

バリーカレボーは現在、アジア太平洋地域にてカカオ加工工場5施設、チョコレート工場4施設、R&Dセンター4施設、そしてChocolate Academy™センター3施設を運営しています。

バリーカレボーは、アジア太平洋地域初のチョコレート製造拠点を1996年にシンガポールに開設しました。2013年7月には、シンガポールに本社に置くペトラフーズのココア事業の買収を完了しました。バリーカレボーは現在アジア太平洋地域に2,000人の従業員を擁しており、2013年12月、地域統括事務所をシンガポールに新設する予定です。

\*\*\*

**バリーカレボー** ([www.barry-callebaut.com](http://www.barry-callebaut.com))

チューリッヒを拠点とし、2012/2013年度に年間売上高約49億スイスフラン（40億ユーロ/52億米ドル）を上げ、カカオ豆の調達からフィリング、装飾、コンパウンド等様々な用途に使用される最高級のチョコレート製品までの一貫生産を行う、高品質チョコレートとココアで世界をリードする企業です。100カ国を超える国々で約50の生産工場を稼働、8500人以上の多様で献身的な従業員を擁しています。

バリーカレボーは業務用食品メーカー、菓子職人、チョコレートを使用するプロの職人（ショコラティエ、パティシエ、パン職人、ホテル、仕出し業者）向けを中心とした食品業界全体に対して、カレボー®およびカカオバリー®という2つのブランドを通じ、グルメ市場のお客様独自のニーズに合わせた製品を提供しています。

バリーカレボーはココア・ホライゾン（資源を持続するための取り組み）を通してココアの安定供給を確保し、農家の生活向上を行う取り組みを行っています。

\*\*\*

**日本におけるお問い合わせ:**

バリーカレボー広報担当窓口

アシュトン・コンサルティング

中馬 美佳 / 林 万里花

電話: (03) 35425-7220

[m.chuma@ashton.jp](mailto:m.chuma@ashton.jp); [m.hayashi@ashton.jp](mailto:m.hayashi@ashton.jp)

**アジア太平洋地域のお問い合わせ:**

Nor Badron

Director, Corporate Communications

Barry Callebaut Asia Pacific

Phone: +65 9113-6753

[nor\\_badron@barry-callebaut.com](mailto:nor_badron@barry-callebaut.com)

**投資家、金融アナリストのお問い合わせ:**

Evelyn Nassar

Head of Investor Relations

Barry Callebaut AG

Phone: +41 43 204 04 23

[evelyn\\_nassar@barry-callebaut.com](mailto:evelyn_nassar@barry-callebaut.com)

**国際メディアのお問い合わせ:**

Raphael Wermuth

Head of Media Relations

Barry Callebaut AG

Phone: +41 43 204 04 58

[raphael\\_wermuth@barry-callebaut.com](mailto:raphael_wermuth@barry-callebaut.com)